



OpenShift Dedicated 4

アップグレード

OpenShift Dedicated のアップグレード

OpenShift Dedicated 4 アップグレード

OpenShift Dedicated のアップグレード

Enter your first name here. Enter your surname here.

Enter your organisation's name here. Enter your organisational division here.

Enter your email address here.

法律上の通知

Copyright © 2021 | You need to change the HOLDER entity in the en-US/Upgrading.ent file |.

The text of and illustrations in this document are licensed by Red Hat under a Creative Commons Attribution–Share Alike 3.0 Unported license ("CC-BY-SA"). An explanation of CC-BY-SA is available at

<http://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/>

. In accordance with CC-BY-SA, if you distribute this document or an adaptation of it, you must provide the URL for the original version.

Red Hat, as the licensor of this document, waives the right to enforce, and agrees not to assert, Section 4d of CC-BY-SA to the fullest extent permitted by applicable law.

Red Hat, Red Hat Enterprise Linux, the Shadowman logo, the Red Hat logo, JBoss, OpenShift, Fedora, the Infinity logo, and RHCE are trademarks of Red Hat, Inc., registered in the United States and other countries.

Linux[®] is the registered trademark of Linus Torvalds in the United States and other countries.

Java[®] is a registered trademark of Oracle and/or its affiliates.

XFS[®] is a trademark of Silicon Graphics International Corp. or its subsidiaries in the United States and/or other countries.

MySQL[®] is a registered trademark of MySQL AB in the United States, the European Union and other countries.

Node.js[®] is an official trademark of Joyent. Red Hat is not formally related to or endorsed by the official Joyent Node.js open source or commercial project.

The OpenStack[®] Word Mark and OpenStack logo are either registered trademarks/service marks or trademarks/service marks of the OpenStack Foundation, in the United States and other countries and are used with the OpenStack Foundation's permission. We are not affiliated with, endorsed or sponsored by the OpenStack Foundation, or the OpenStack community.

All other trademarks are the property of their respective owners.

概要

OpenShift Dedicated クラスターのアップグレード

目次

第1章 OPENSIFT DEDICATED クラスターのアップグレード	3
1.1. OPENSIFT DEDICATED クラスターのアップグレードについて	3
1.1.1. 自動アップグレード	3
1.1.2. 手動アップグレード	3
1.1.3. アップグレードの通知	3
1.2. OCM を使用したクラスターの自動アップグレード	4
1.3. OCM を使用したクラスターの手動によるアップグレード	4

第1章 OPENSIFT DEDICATED クラスターのアップグレード

自動アップグレードまたは手動アップグレードポリシーをスケジュールして、OpenShift Dedicated クラスターのバージョンを更新できます。OpenShift Dedicated クラスターのアップグレードは、OpenShift Cluster Manager (OCM) または OCM CLI を使用して実行できます。

1.1. OPENSIFT DEDICATED クラスターのアップグレードについて

OpenShift Dedicated クラスターでアップグレードが利用可能になると、OpenShift Cluster Manager (OCM) または OCM CLI を使用して最新バージョンにアップグレードできます。既存クラスターまたはクラスターの作成時にアップグレードポリシーを設定でき、アップグレードは自動または手動で行うようにスケジュールできます。

Red Hat Site Reliability Engineers (SRE) は、OpenShift Dedicated クラスターで利用可能なバージョンの一覧を提供します。クラスターごとに、利用可能なリリースの完全なリストに加え、対応するリリースノートを確認できます。OCM は、最新のサポート対象バージョンでクラスターのインストールを有効にし、アップグレードはいつでもキャンセルできます。

また、**PodDisruptionBudget** で保護されたワークロードがアップグレード時に考慮される期間について、猶予期間を設定することもできます。この猶予期間後に、ノードから正常にドレインされていない **PodDisruptionBudget** によって保護されたワークロードは、強制的に削除されます。



注記

各 OpenShift Dedicated クラスターの Kubernetes オブジェクトおよび PV はすべて、OpenShift Dedicated サービスの一部としてバックアップされます。アプリケーションおよびアプリケーションデータのバックアップは、OpenShift Dedicated サービスの一部ではありません。アップグレードをスケジュールリングする前に、アプリケーションとアプリケーションデータのバックアップポリシーが適用されていることを確認してください。

1.1.1. 自動アップグレード

アップグレードは、クラスターの所有者または管理者が指定した日時に、自動的に実行されるようにスケジュールできます。アップグレードは、その週にアップグレードが利用できない場合を除いて、毎週行われます。



注記

自動アップグレードポリシーは任意です。設定されていない場合は、アップグレードポリシーはデフォルトで手動に設定されます。

1.1.2. 手動アップグレード

手動アップグレードを選択した場合は、クラスターを更新する必要があります。クラスターのバージョンが大幅に遅れている場合は、限定サポートステータスに移行します。OpenShift ライフサイクルポリシーの詳細は、「[OpenShift Dedicated update life cycle](#)」を参照してください。

1.1.3. アップグレードの通知

OCM コンソールでは、**Overview** タブからクラスターの履歴を表示できます。アップグレードの状態は、サービスログの **Cluster history** の見出しの下に表示されます。

状態が変更されるたびに、クラスターの所有者とサブスクライブされたユーザーへの電子メール通知もトリガーされます。以下のイベントのメール通知が送信されます。

- アップグレードがスケジュールされました。
- アップグレードが開始されました。
- アップグレードが完了しました。
- アップグレードがキャンセルされました。



注記

自動アップグレードの場合、アップグレードが実行される前にも、以下の頻度に基づいてメール通知が送信されます。

- 2週間前に通知
- 1週間前に通知
- 1日前に通知

1.2. OCM を使用したクラスターの自動アップグレード

OpenShift Cluster Manager (OCM) を使用して、OpenShift Dedicated クラスターを毎週自動的にアップグレードできます。アップストリームの変更に基づいて、更新がリリースされない場合もあります。したがって、その週のアップグレードは行われません。

手順

1. [OCM](#) で、クラスターリストからクラスターを選択します。
2. **Upgrade settings** タブをクリックして、アップグレード Operator にアクセスします。
3. 自動アップグレードをスケジュールするには、**Automatic** を選択します。
4. クラスターをアップグレードする曜日と時間を指定します。
5. **Save** をクリックします。
6. オプション: ドロップダウンリストから指定された時間を選択して、**ノードドレイン** の猶予期間を設定します。デフォルトで**1時間**の猶予期間が設定されています。
7. 既存の自動アップグレードポリシーを編集するには、**Upgrade Settings** タブから希望する日付または開始時間を編集します。**Save** をクリックします。
8. 自動アップグレードポリシーをキャンセルするには、**Upgrade Settings** タブから、アップグレード方法を手動に切り替えます。**Save** をクリックします。

Upgrade settings タブの **Upgrade status** ボックスには、アップグレードがスケジュールされていることが示されます。次のスケジュールされた更新日時が表示されます。

1.3. OCM を使用したクラスターの手動によるアップグレード

OpenShift Cluster Manager (OCM) を使用して、OpenShift Dedicated クラスターを手動でアップグレードできます。

手順

1. **OCM** で、クラスターリストからクラスターを選択します。
2. **Upgrade settings** タブをクリックして、アップグレード Operator にアクセスします。**Details** の見出しの下にあるクラスターバージョンの横の **Update** をクリックして、**Overview** タブからクラスターを更新することもできます。
3. **Update Status** ボックスの **Update** をクリックします。
4. クラスターをアップグレードするバージョンを選択します。推奨されるクラスターのアップグレードは、UI に表示されます。利用可能な各アップグレードバージョンの詳細については、**View release notes** をクリックしてください。
5. **Next** をクリックします。
6. アップグレードをスケジュールするには、以下を実行します。
 - 今から1時間以内にアップグレードするには、**Upgrade now** をクリックします。
 - **Schedule a different time** をクリックし、クラスターをアップグレードする日時を指定します。
7. **Next** をクリックします。
8. アップグレードポリシーを確認し、**Confirm upgrade** をクリックします。
9. クラスターのアップグレードがスケジュールされると、コンファメーションが表示されません。**Close** をクリックします。
10. オプション: ドロップダウンリストから指定された時間を選択して、**ノードドレイン** の猶予期間を設定します。デフォルトで**1時間**の猶予期間が設定されています。

UI は、クラスターバージョンの横にある **Overview** タブで、アップグレードがスケジュールされていることを示します。**View details** をクリックして、アップグレードの詳細を表示します。スケジュールされたアップグレードをキャンセルする必要がある場合は、**View Details** ポップアップから **Cancel this upgrade** をクリックします。

同じアップグレードの詳細は、**Upgrade status** ボックスの下の **Upgrade settings** タブで確認できます。スケジュールされたアップグレードをキャンセルする必要がある場合は、**Upgrade status** ボックスで **Cancel this upgrade** をクリックします。



警告

OpenShift Dedicated で CVE またはその他の重大な問題が見つかった場合、すべてのクラスターは、修正がリリースされてから 48 時間以内にアップグレードされます。修正が利用可能になると通知され、48 時間の期間が終了する前に、クラスターが最新の優先開始時間に自動的にアップグレードされることが通知されます。自動アップグレードが開始される前であれば、いつでも手動でアップグレードできます。

